



アントニオ・グテレス 国連事務総長 殿

2019年9月19日
日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)

気候行動サミットにおける国連事務総長の呼びかけに対する賛同表明

日本気候リーダーズ・パートナーシップ(以下 JCLP)は、「気候変動が社会の安定ひいてはビジネス活動への重大な脅威である」との認識の下、脱炭素社会への転換期に求められる企業となることを目指す日本企業 116 社が参加するネットワークです。

日本においても、身の危険を感じる酷暑や、生活インフラを破壊する台風、企業のサプライチェーンの寸断などが発生し、気候変動による影響を実感せざるを得なくなっています。気候変動は、もはや国民の生命と財産を脅かす重大な危機と言っても過言ではありません。

JCLP は、気候変動の深刻な被害を避けるには、現在が最後のチャンスであることを真摯に受け止めなくてはならないと考えています。

危機意識を共有し、グテレス事務総長のリーダーシップを支持します

アントニオ・グテレス事務総長は世界で起こっている気象災害等の様々な被害を踏まえ、気候変動の脅威について“Climate Emergency”という表現でその緊急性、重大性を世界に発信されています。また、「2020年までの各国の削減目標(NDC)強化とともに今後10年間で温室効果ガスを45%削減し、2050年までに全世界でゼロ・エミッションを達成する方法を示す必要がある¹⁾」など、危機の回避に向けた具体的な方向性についても積極的に発信されています。さらに、今般の気候行動サミットでは、具体的なアクションとその加速に向け、各国首脳へ「スピーチではなく、確固たる、現実的な計画を求める²⁾」など、一連の強いリーダーシップを発揮されています。

JCLP は、事務総長の強い危機感を共有し、気候行動サミットの開催をはじめとする脱炭素化に向けたリーダーシップに敬意を表するとともに、それらを支持します。

JCLP も、引き続き自らの脱炭素化に務めるとともに、日本が世界の脱炭素化において貢献できるよう、政府、市民、産業界らとの対話等を進めてまいります。

以上

¹ [Opening remarks at press conference at launch of WMO Statement on the State of the Global Climate in 2018](#)

² [Opening remarks at press conference at launch of WMO Statement on the State of the Global Climate in 2018](#)



日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）とは

脱炭素社会の実現には産業界が健全な危機感を持ち、積極的な行動を開始すべきであるという認識の下、2009年に日本独自の企業グループとして設立。幅広い業界から日本を代表する企業を含む114社が加盟（2019年9月現在）。加盟企業の売上合計は約100兆円、総電力消費量は約36Twh（海外を含む参考値・概算値）。脱炭素社会の実現に向け、横浜市との包括連携協定の締結や、国際非営利組織 The Climate Group のローカルパートナーとして RE100、EV100、EP100 の普及窓口を務めるなど、自治体や海外機関との連携も進める。URL: <http://www.japan-clp.jp/>

本件に関するお問い合わせ

JCLP 事務局 Tel: 046-855-3844 Email : info-jclp@iges.or.jp